

教科	社会	観点	① 知識・技能	
学年	3年生		② 思考・判断・表現	
授業形態	一斉		③ 主体的に学習に取り組む態度	
教科目標	生徒の学び意欲がわき、主体的に取り組める授業づくり めあてと振り返りの徹底と、授業の流れの見える化と協働的な学びの意識化			
学期	単元名	学習内容	目標到達のめやす	評価する観点
1学期	日本の近代化	近代国家へのあゆみ	立憲制の国家が成立して議会政府が始まるとともに、日清・日露戦争、条約改正などによって日本の国際的地位が向上したことを理解することができる。	①②③
		立憲制国家の成立	日本で近代産業が発展し、近代文化が形成された原因や、それによって都市や農村の生活にどのような変化が生じたのかを理解することができる。	
		日清・日露の戦争と東アジアの動き		
		近代日本の社会と文化		
	二度の世界大戦と日本	第一次世界大戦と戦後の世界	第一次世界大戦にかかわる世界の動きと日本の関連、さらに大正デモクラシーの時期の政党政治の発達などを時代の流れと共に理解することができる。	①②③
		大正デモクラシーの時代	軍部の台頭から第二次世界大戦までの経過と、第二次世界大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解することができる。	
		世界恐慌と中国の戦争		
		第二次世界大戦と日本		
	現代の日本と世界	平和と民主化への動き	日本の民主化に合わせて日本の経済や科学技術が急速に発展して、国民の生活が向上し、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことを理解することができる。	①②③
		国際化する世界と日本	日本の歴史の大きな流れを振り返り、広い視野に立って日本の伝統と文化の特徴を考えることができる。	①②③
		グローバル化と日本の課題		①②③
	私たちと現代社会	私たちが生きる現代社会の特色	現代社会の特色である少子高齢化・情報化・グローバル化について説明することができる。	①②③
		現代社会の文化と私たち	現代社会における文化の意義や影響を理解することができる。	
現代社会の見方・考え方		現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正について理解することができる。		
2学期	個人の尊重と日本国憲法	法に基づく政治と日本国憲法	日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていることについて理解することができる。	①②③
		日本国憲法と基本的人権	日本国憲法の平和主義について理解を深め、我が国の安全と防衛の問題について考えることができる。	
		日本の平和主義		
	国民主権と日本の政治	民主政治と政治参加	民主政治のしくみや政党の役割を理解し、議会制民主主義について考えることができる。	①②③
		国の政治のしくみ	国会・内閣・裁判所のもつ政治的権力の内容と三権分立の仕組みについて説明することができる。	
		くらしを支える地方自治	地方自治の基本的な考え方や、政治のしくみを理解することができる。	
	私たちの生活と経済	経済のしくみと消費生活	身近な消費生活を中心に、経済活動の意義を理解することができる。	①②③
		生産の場としての企業	現代の生産や金融などのしくみやはたらきを理解することができる。	①②③
金融のしくみとお金の大切さ		国民の生活と福祉の向上を図るために、財政として国や地方公共団体が果たしている役割について考えることができる。		
財政と国民の福祉			①②③	
3学期	私たちの国際社会	国家と国際社会	世界平和や地球環境、資源・エネルギー、貧困など、現在の国際社会が抱えるさまざまな課題を理解することができる。	①②③
		国際社会の課題と私たちの取り組み	世界平和の実現と人類の福祉の増大のためには、各国が相互の主権を尊重し、各国民が協力し合うことが大切であることを理解する。	
	私たちの課題	持続可能な社会をめざして	持続可能な社会を形成するという観点から、わたしたちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探求し、自分の考えをまとめることができる。	①②③

◎評価の方法

中間テスト、期末テスト、実力テスト、小テスト、提出物（授業ノート、ワークなど）等

◎学習のポイント（学習の進め方について）

生徒自身が課題を持って取り組めるように授業のはじめに目標を提示し、それに沿って授業を進める。またプリントやタブレット等を活用して基礎的な知識の定着を図ると共に、映像やICT等を活用し、思考力・判断力・表現力を発揮できる授業も進めていく。